

1~5面 SDGs

6~7面 名古屋YWCA 沖縄スタディツアー

The Young Women's Christian Association

YWCA

(第32総会期主題聖句)
平和を実現する人々は幸いである
—マタイによる福音書5章9節—

(日本YWCAの使命 (ミッション))
イエス・キリストに学び、共に生きる世界を実現する
世界の人々と共に人権・平和・環境の問題に取り組む

(日本YWCAのビジョン)
地域で女性達が主体的に活動することを通して、
以下の社会をめざします。
(1) 平和憲法が生かされ、核も暴力もない社会
(2) 女性と子どもの尊厳を守る社会
(3) 若い女性がリーダーシップを発揮する社会
(4) 多世代・多文化で多様な背景を
持つ人びとを尊重する社会

6

JUNE 2019

No.750

www.ywca.or.jp

未来を開く17の扉

始めよう! SDGs

1 貧困をなくそう
2 飢餓をゼロに
3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに
5 ジェンダー平等を実現しよう
6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8 働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさを守ろう
16 平和と公正をすべての人に
17 パートナリシップで目標を達成しよう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

SDGs (エスディーゼーズ) を知っていますか。
「Sustainable Development Goals」の略で、「持続可能な開発目標」と訳されています。
地球の未来のために、国連で決議された「めざすべき世界の姿」で、このカラフルな17個の目標を2030年までに達成しようというのです。
SDGsには、副題があります。「Transforming Our World (私たちの世界を変革する)」。
そう、私たちの世界を、私たち一人ひとりで変えていこう! というのです。
17の目標は、私たちに身近なものなのですが、日本ではまだよく知られていないのが実情。
そこでSDGsを知ってもらおうと、ざっくりまとめてみました。

ご協力ありがとうございました

賛助費
板橋俊子 小林立美子
三宅文子 河内常男 山田久美子
鶴崎祥子 谷川いつみ
日本キリスト教団千葉教会

ピースメーカーズ募金
(平和をつくり出す女性のリーダーシップ養成)
愛智直行 犬伏邦明 祖父江健一
栗田愛子 高井恵子 尾崎裕美子
平松恵子 田中功一 下条知加子
山田克己 稲垣弥彦 佐々木大樹夫

内野明和 山倉文幸 渡邊洋
鶴崎祥子 谷川いつみ
学校法人女子学院
ブルー学院中学校・高等学校
西南学院高等学校
東洋英和女学院中・高部 宗教委員会
社会福祉法人葛飾学園
日本キリスト教団高円寺教会
日本キリスト教団早稲田教会
日本福音ルーテル甲府教会
日本キリスト教団早稲田教会
日本聖公会鎌倉聖ミカエル教会
日本聖公会千住基督教会
日本聖公会葛飾茨十字教会
匿名

世界YWCA総会派遣募金
郡恭子 田村セツ 宮本久子
杉野孝子 中島美登里
川路YWCA
湘南YWCA
福島YWCA
匿名

災害時支援募金
(国内外の災害被災者支援)
犬伏邦明 鶴崎祥子
松山YWCA
匿名

一般財団法人函館YWCA
一(北海道地震被災者支援募金)
鶴崎祥子
東洋英和女学院 宗教教育委員会
宗教法人水戸バプテリスト教会
西南学院高等学校
公益財団法人函館YWCA
東京YWCA 会員総会 礼拝献金
神戸YWCA 秋バザー実行委員会
匿名

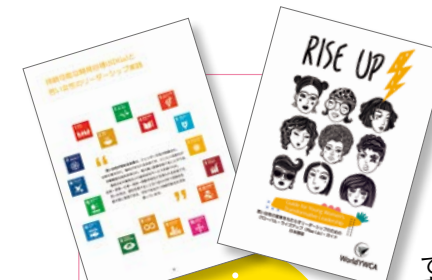
東日本大震災被災者支援募金
牧甫 犬伏邦明 清水嶋洋子
匿名

世界YWCA総会派遣募金
関西地区中高YWCA
匿名

(2019年2月16日~4月15日現在 敬称略)

鶴崎祥子 久宗百合子
東洋英和女学院 宗教教育委員会
東洋英和女学院中・高部 母の会
ルーテル大森幼稚園
日本福音ルーテル大森教会
日本バプテリスト教団白ヶ丘教会
日本基督教団新潟教会
松山YWCA
カトリックサポーターズ 58件
匿名

エンパワーするNGO



日本YWCA
ウェブサイトから
ダウンロードできます



http://ywca.or.jp/
pdf/2019/0422b.pdf
※部分的に使用する場合は
出典を明記してください

若い女性が卒業をもちたらずための
リーダーシップ・トレーニング
ガイドブック配信

世界YWCAが発行する、若い女性のリーダーシップ・トレーニングのための「RISE UP!」日本語版が完成しました。
184頁にも及ぶこの冊子は、世界各地で社会的課題に直面している若い女性が立ち上がり、自己を変革し、周囲に影響を与えながら社会を変革するためのガイドブックです。
深く知る、考える、意見を交わす、そして行動につなげるために役立つコンテンツが満載。
ユースはもちろん、大人の学び直しにもおススメです。さまざまなリーダーシップ・プログラムでご利用ください。

2018年度 寄付報告

活動へのご賛同、ありがとうございます。

- ピースメーカーズ募金 2,830,930円
(平和を創り出す女性のリーダーシップ養成)
- 災害時支援募金 4,842,676円
(国内外の災害被災者支援、パレスチナ支援、北海道地震被災者支援含む)
- 東日本大震災被災者支援募金 4,050,139円
- オリーブの木キャンペーン募金 1,710,000円
- 賛助費 1,679,000円
- 世界YWCA総会派遣募金 232,025円
- 指導者育成募金 500,000円

【 2019年度もよろしくお願いいたします 】

※当法人へのご寄付は、税額控除の対象となります。
※メールまたは振替用紙通信欄で次の情報をお知らせください。領収書を発行します。
①振込日 ②金額 ③お名前 ④ご住所 ⑤寄付項目
⑥お名前アルファベット (オリーブの木キャンペーンへのご寄付のみ)
※ご希望の寄付項目を必ずご指定ください。
※年間3,000円以上のご寄付で、機関紙をお送りいたします。

銀行への振込	振込先	三井住友銀行 飯田橋支店 普通預金 1198743 (口座名義) 公益財団法人日本YWCA コウエキサイダンハウスニホンワイドブリュースーイー
	郵便振替	00170-7-23723 (加入者名) 公益財団法人日本YWCA
他行からの振込	ゆうちょ銀行 〇一〇支店 (ゼロイチキュー)	当座預金 23723 (口座名義) 公益財団法人日本YWCA ザイ) ニホンワイドブリュースーイー

発行所 公益財団法人日本YWCA 〒101-0062 千代田区神田駿河台1-8-11 東京YWCA会館302号室
Tel. 03・3292・6121 Fax.03・3292・6122 office-japan@ywca.or.jp www.ywca.or.jp
編集発行人 実生律子/偶数月1日発行

旬な情報発信しています | メルマガ登録 y-net@ywca.or.jp | お名前を送ってください / フェイスブック www.facebook.com/YWCAJapan

メールにてご意見・ご感想をお寄せください。今後の紙面づくりの参考にさせていただきます。 office-japan@ywca.or.jp 無断での複写・転用・転載はご遠慮ください。

point 4 柔らかな発想で つながる

17の目標には規則や規制、罰則はなく、「正解」もありません。誰もが自分なりの発想で捉えて自由に実践できるのです。だからこそ、みんなが、それぞれの立場で専門や得意を生かして取り組むことが求められています。

また、「指標」とよばれる共通の物差しで進捗を測ることで、良い取り組みや教訓は世界中で共有しあえる仕組みになっています。

世界の課題は一分野の活躍だけでは解決しません。個人あるいは一組織では達成できない課題に対して、同じ目標のために活動する他者とパートナーシップを組むことで、さらに新しい活動が生まれる。それが課題解決への第一歩になるのではないのでしょうか。



若い女性が悩みや課題を共有できるソーシャルメディアを提供 (スコットランドYWCA)



難民の女性たちが収入を得るために (エリコYWCA)

Photo / 田附和久

YWCAとSDGs

若い女性のリーダーシップが世界を変える

YWCAは創立当初から、女性の自立を推進しています。誰もが自分の人生を選びとり、リーダーシップを発揮できる社会を目標(ゴール)として、平和・非暴力・ジェンダー・貧困、さまざまな問題に包括的に取り組んでいます。

SDGsの17目標の策定にも参画し、「ジェンダー平等の実現」を目標に据えることを求めました。他方で、120以上の国と地域に広がるYWCAの共通目標として、「世界に変革を

point 3 すべての目標は つながっている

見方を変えると17の目標は、5つのテーマで捉えることができます。頭文字をとって「5つのP」と呼ばれています。

●人間 People= 貧困をなくし、すべての人が尊重され、健康で文化的な生活を送り、持ち前の能力を発揮できること。

●地球 Planet= つくるときも、使うときもよく考えて、将来の世代に資源をゆずれよう地球をまもる。

●豊かさ Prosperity= 豊かで充実した生活を送るために、自然と調和する経済、社会、技術を推進する。

●平和 Peace= あらゆる暴力をなくし、誰もが平和で公正のうちに安心して暮らせる世界をめざす。

●パートナーシップ Partnership= すべての目標が達成されるよう、さまざまな立場の人や組織が受け入れあいグローバルに連携しあう。

また、17の目標はそれぞれ相関関係にあります。1つの目標に取り組むことで、自ずと複数の目標につながっていくのが、SDGsの特徴です。それは、ひとつの社会課題の背景にさまざまな課題が複雑に絡みあっていることを示しています。

たとえば、目標5「ジェンダー平等の実現」に取り組むと、

- 目標1 女性の貧困
- 目標8 雇用の機会や待遇
- 目標3 性と生殖の安全
- 目標4 教育のあり方
- 目標16 意思決定機関への参画

など、多くの目標につながっていることがわかります。裏を返せば、ジェンダー平等が実現したら、世界のさまざまな課題が解決することを示しています。



始めよう! SDGs

知っておきたい!

4つのポイント

SDGsは2015年の国連サミットで、193の加盟国すべての合意を得て採択された世界レベルの「共通目標」です。4つのポイントでその魅力に迫ってみました。YWCAの理念にも通じるものがありそうです。

point 2 誰ひとり取り残さない

SDGsの最大の魅力は「誰も置き去りにしない」という理念にあります。

SDGsが採択された2015年以前、世界の目標とされていたのが「ミレニアム開発目標 (MDGs)」でした。おもに途上国の社会的開発を目標とするもので、「絶対的貧困(必要最低限の生活水準が満たされていない状態)」の半減など一定レベルの成功を収めました。置き去りにされた地域は貧困のまま、また先進国でも格差が拡大し「相対的貧困(ある地域社会の大多数よりも貧しい状態)」が顕著になるなど、多くの課題を残しました。その反省に基づいてSDGsは、世界のすべての国が「誰も置き去りにしない」世界をめざすことを理念の中心に据えたのです。「誰も」には途上国だけではなく、日本の地域社会に生きる一人ひとりも含まれています。



貧困の女性たちが制作した服飾品を販売 (ネパールYWCA)

point 1 みんながみんなのために

いま私たちの世界は、貧困や飢餓、格差の拡大、気候変動、紛争など地球規模の問題に直面しています。SDGsは、このままでは地球の未来が危ないという強い危機感から生まれた「未来を変えるための17の目標(ゴール)」。世界中で取り組むことで2030年までに目標達成しようという、大胆で野心的な挑戦です。

SDGsの特徴のひとつは、決定までのプロセスにあります。目標の策定にあたり3年かけて実施されたオンライン調査には、市民社会・企業・研究者・女性・若者・社会的マイノリティなどさまざまな立場から1000万人以上が意見を投じました。それらの声をもとにつくられた「みんなの・みんなによる・みんなのための目標」なのです。



国際的な意思決定の場に参画する「CSW (国連女性の地位委員会)」(日本YWCA)

*世界YWCAビジョン2035「1億人の若い女性と少女が、正義とジェンダー平等を実現し、暴力・戦争のない世界をつくるため、権力構造を変革し、すべての女性にインクルーシブで持続可能な運動を先導する」

10 人々の平等を促進しよう | 人と国の不平等をなくす



フェアトレード商品を販売 (呉YWCA)

世界の人口は約76億人。しかし世界の富の半分以上は1%の富裕層に集中しています。世界の貧困、移住、テロなどの問題には、こうした「人と国の経済的不平等」も深く関わっています。国内的にも国際的にも富を再分配し、格差を是正する政策が必要です。多様な人たちが平等に機会を得て活躍できる、そんな社会の仕組みを生み出したいですね。

やってみよう | 生活にフェアトレード商品を

8 働きがいのある人間らしい暮らしを促進しよう | 働きがいを求めて



働く喜び、味わう幸せ、就労支援カフェ (東京YWCA福祉会)

貧困をなくすためにも持続可能な経済成長は大切ですが、発展を重視するあまり、強制労働や過酷な児童労働等で多くの尊厳が奪われてきました。働きがいのある人間らしい仕事の機会を生み、性別、人種、障がい等に基づく差別的撤廃が目標8です。日本でも非正規雇用やブラック企業の問題、人権が保障されない働き方など、多くの課題があります。

やってみよう | 就労支援カフェでランチ

4 質の高い教育をみんなに | すべての人に教育を



日本語を母国語としない子どもたちの学習支援 (福岡YWCA)

この世界には、読み書きができない15歳以上の人が約7億人もいることを知っていますか？ そのおおよそ3分の2が女性です。人生を切り拓く力を身につけるために、すべての人が質の高い教育を受けられることがこの目標です。日本国内にもさまざまな理由で通学や学習が困難な子どもたちが支援を必要としています。

考えてみよう | 日本にいる子どもたちの学ぶ機会は平等？

始めよう! SDGs



いま、ここから やってみよう!

みんなの小さなアクションに未来を変えるチカラがある、とSDGsは呼びかけています。大事なのは、世界の課題を自分ごととして捉えること。そして、ムリなく続けられること。まずは身近な課題に目を向けて、いま自分のできることから始めてみよう。もしかしたら、すでに扉をあけているかもしれません。



5 ジェンダー平等を促進しよう | ジェンダー平等を実現



女性に対する暴力にNo! (日本YWCA)

女性と少女は、雇用の機会や給与、家事分担、性と生殖、社会的意思決定への参画など、多くの場面でジェンダーに基づく差別に直面しています。また、日本では、その多くが身近な相手から暴力を受けた経験があるといえます。女性であるだけで受ける差別や暴力によって持ち前の能力を發揮できずにいたら、持続可能な発展は見込めません。

考えてみよう | 身近な見えない差別に目を向けて

16 平和と正義を促進しよう | 平和な地球を子どもに



平和への道筋を話し合う (日本YWCA)

民族、宗教、イデオロギーの対立等による紛争やテロ、核兵器の脅威などの要因で「世界の終末時計」は今、終末の2分前をさしています。戦争やあらゆる形の暴力のない平和な未来、誰もが法によって守られ、安心して暮らせる社会を築く上で、日本国憲法の「暴力ではなく対話で解決する」という理念にそのヒントがありそうです。

やってみよう | 憲法カフェに行ってみよう

12 つくばない消費を促進しよう | ライフスタイルを見直す



地球にも人にも優しいファッションショー (神戸YWCA)

私たちの大量生産・消費・廃棄型の生活と経済活動は、地球環境と天然資源に大きな負荷をかけています。このままのペースでは、2050年には地球が3つ必要になります。国や企業は天然資源を管理し、人の健康と地球に悪影響を与える有害廃棄物を出さないことが求められます。私たちも資源を大事にするなど、ライフスタイルを見直してみませんか。

やってみよう | 「もったいない」の精神でいこう

1 貧困をなくそう | 貧困をなくそう



野宿をしている方々に温かな食事を (名古屋YWCA)

SDGsでもその前身のMDGsでも、目標1に挙げられているのが貧困撲滅です。途上国では7億人以上が今も極度の貧困状態にあります。先進国でも格差が増大し、多くの子どもが相対的貧困の中で成長しています。日本ではシングルマザー世帯の貧困が先進国でも突出、また、生活保護が必要なのに利用できずにいる人も非常に高いといわれています。

考えてみよう | 身近な貧困はなぜ見えにくい？

名古屋 YWCA 沖縄 スタディツアー Okinawa

リアルに出会い
ともに考える

ユースの旅



名古屋YWCA青少年部会では、2015年より沖縄スタディツアーを実施し、ユースを対象とした平和学習を行っています。本土からは見えにくい、沖縄の痛み、想い、コトバ、真実の姿に出会ったユースたちは何を感じるのか——。若い世代の知りたい思いから作り上げるツアーの魅力に迫ってみました。



知花さんが三線を聴かせてくださった。みんなで踊って盛り上がり楽しかった



沖縄本島北部の高江を訪れて、亜熱帯のやんばるの森、通称プロッコリーの森をみんなで眺めた。高江を想う人々は、強い意志と共に愛を持っていることを感じた



沖縄YWCAユースたちとの交流会。お互い用意していたプレゼントを交換

詳しくはフェイスブックを見てね!
名古屋YWCA
沖縄平和プロジェクト
@youth.okinawa.peace



②泊③日の旅
ちょこっとご紹介



船に乗って、辺野古大行動を間近で見た。地元の人から北海道の人まで、日本中の人々が自分ごとと捉え、土砂投入や基地に反対を唱えていた。そんな人々を、柵の向こうから警備の人たちが見つめていた



チビチリガマで知花昌一さんのお話を聞いた。ガマの中で追い詰められた住民たちの姿が浮かぶようだった。戦後、かなりの時間、この経験を語り続けることができなかったという生き残った人たちの気持ちは想像してもきれない

参加しました



平和のために
私ができることなんて……
あるかも!

自分の中に平和を築いてみよう

沖縄に行ってきました! 沖縄で起こっていることを自分の目で見たい、「海がきれいな沖縄」だけではない本当の姿を知りたい、自分のルーツである沖縄を知りたい、という思いがあったからです。

沖縄では戦争を知る人々、戦争を語り継ごうとしてくれる人々がさまざまな方法でメッセージを残してくれていました。とってもありがたいことです。そして、それをきちんと受けとめることはこれから生きる私たちにとって大切なことだと思います。

今回の旅で私の心に響いた一番のメッセージは「自分の中に平和を忘れてはいけない」ということです。大きな愛や悲しみは、その大ききゆえに怒りや憎しみをも生んでしまうことを知りました。しかし、平和を願うのなら、自分の内側から平和をつくり、対立をなくすべきだと気がきました。

平和のために、海を守るため、山を守るために、〇〇と闘おう! 〇〇を許さないぞ! 〇〇は分かっている! これでは、すでにそこに「平和」や「愛」はないと思ってしまったのです。願うのなら、私たちが平和をつくり、私たちが対立というものをなくし、根本にある願い

や愛を忘れてはいけません。それを自分のところに刻み込みました。そう言われても平和のために私ができることなんて……あるかも! 自分の中に平和を築いてみるのはどうでしょうか! 一人ひとりの意識が社会や世界の意識につながると思うからです。

いま、ここから世界をつくろう

私の好きなガンジーの「ことば」が思い出されます。"We but mirror the world. All the tendencies present in the outer world are to be found in the world of our body."

外で起こるすべてのことは自分自身の中で起こっていること。そう、世界は自分を映す鏡なのだ。

私たちにたくさんの恩恵をくれる自然を大事にしたい。人も含むあらゆる「いのち」がリスペクトされる世界がいいな。そこには、人とその他の生物、私とあなた、自国と他国などの区切りはありません。人と人、人と自然のつながりをみんなが思い出したら世界はどう変わるのだろう! 私は自分のいのちが喜ぶことをしながら、願う世界を「いま、ここ」からつくっていきます。

名古屋YWCA 城間瑚海

ユースの学びや気づきを
尊重したサポート

運営
スタッフの
声



事前学習会で、参加者の思いを込めたバナーを製作

沖縄の問題を自分のこととして捉えて 私たちがこの企画を始めたところの名古屋YWCAでは、ユース対象の平和に関するプログラムが少なく、沖縄との連帯もまだ道半ばでした。戦争や基地を「遠いところの問題」とするのではなく、次世代を担うユースが「自分のこと」として捉え、名古屋でユース主体のアクションを生み出していけたら……という思いでこのプログラムが始まりました。

沖繩で起きていることを見てみると、私たちの社会にある構造的差別に気づくことができます。第二次世界大戦の地上戦、米軍基地の集中、米兵による女性や子どもへの暴力、新基地やヘリパッド建設による環境破壊……このような犠牲が日本政府によって押しつけられているのです。

このプログラムづくりに欠かせないのが、人間関係を築きながら学びを積み重ねていく

の運動を求めることはありません。このプログラムの目的は、現場を見る、地元の人々の声を聴く、歴史を知る、仲間とともに考える、といった学びです。「人権や環境が大切にされる平和な社会の実現」というYWCAのスタンスを紹介しながらも、ユース自身の学びや気づきを尊重しています。学んだ結果どのような行動をとるか

事前・事後の学習です。年間を通して月一回のペースで学習を重ね、互いに率直に意見を言える関係を築き、なぜ沖縄に行きたいのか、ツアーの後は名古屋で何をしたいか、といった話し合いを重ねます。そのうちに「ここに行ってみよう」という人に会いたい、などといった希望が出され、スタディツアーのプログラムが組まれていきます。ツアーが終わると、ともに報告書をつくり、報告会を行います。

名古屋YWCA 新倉春美